

(1) タイトル

読みに困難さを持つ児童にデイジー教科書を使った読みへの支援

(2) 事例の対象となる児童生徒

本事例の対象は、学習障害（ディスレクシア）の小学4年生の児童である。通常学級に在籍し通級指導教室での指導を受けている。読み書きに困難さを持つため、小学2年生から通級指導教室で週に1時間読み書きの指導を受け、読み書きの困難さへの軽減を図ってきたが、教科書などを読むことは難しいため、学習内容の獲得のための支援が必要である。

(3) 使用する機器（支援機器）の名称と特徴

(ア) 支援機器の名称

WindowsPC 「EasyReader Express」

iPad 「Voice of DAISY」

(イ) 特徴

使用するマルチメディアDAISY教科書は、日本リハビリテーション協会がボランティア団体の協力を得て通常の教科書と同様のテキストと画像を使用し、デジタル化することでテキスト文字に音声をシンクロ（同期）させて読み上げることが可能にしているものである。読み上げている文節をハイライトされるため、読みあげている単語や文節がわかりやすい。

使用者に合わせて文字の大きさや読みスピード、文字や画面の色を変えることができる。

(4) 使用した機器を選定した理由

日本リハビリテーション協会のホームページから無償でダウンロードすることができる。再生は、パソコンなら無料の再生ソフトがあるので経済的である。iPadでも再生することができる。iPadの再生ソフトは、有料であるが持ち運びが簡単で学習時机上で使いやすい。

(5) 選定のプロセス

上記を参照

(6) 個別の指導計画と個別の教育支援計画

- ・個別の指導計画は、通常学級での学習上の支援ツールとしてマルチメディアデイジー教科書を使用することを記載する。また通級指導教室の個別の指導計画にマルチメデ

- ィアデージー教科書の使用方法や家庭学習での使用について学習することを記載する。
- ・個別の教育支援計画は、必要な支援内容について記載する。

#### (7) 指導の内容

- ・マルチメディアデージー教科書の再生の仕方（PC・iPad）と自分に合わせた設定のしかた
- ・マルチメディアデージー教科書を使って、あらかじめ学習内容をつかむ。
- ・学習の終わりに学習内容を復習する

#### (8) 支援機器の使用効果あるいは、指導の効果と支援機器の評価

- ・マルチメディアデージー教科書を使うと学習内容をほぼ理解することができ、読めないことで学習内容が理解できないということが少なくなった。また、読める単語や熟語が増えた。
- ・学級での学習時の参加態度が積極的になった。（挙手・音読）
- ・単元末テスト（読み上げ支援）で高い点数（100～80点）をとることができ、学習への達成感を感じることができ自信がついてき、学習意欲に繋がった。
- ・マルチメディアデージー教科書を使用することで、読みへの抵抗感が少なくなった。
- ・絵本を読もうとする姿が見られるようになった。

#### (9) まとめと今後の課題

読みに困難さを持つ児童が、通常の教科書を読むことは難しく、文字による情報を読み取ることは困難である。読むことができればその中にある内容を理解することができる児童である。マルチメディアデージー教科書を使用することで、文字へのアクセスの方法を知らせることになる。それまで読めない教科書、頑張っても理解できにくいため学習することに抵抗感を持ち、授業での態度が悪かったが、マルチデージー教科書やデージー化されたテストを使用し支援をすることで学習への抵抗感を減らし、達成感を持つことができた。

今後、個別の指導計画や教育支援計画で支援を引き継ぐことが大切である。通級指導教室担当と学級担任の密な連携によって通級指導教室での指導とマルチメディアデージー教科書の使用についても在籍学級でも活かすことができたが、中学校での支援にも繋がるように連携していくことが不可欠である。また、本児自身が必要なときに活用できるようにしていくことも必要である。